

畜産研究部門主催シンポジウム  
「転換期における畜産技術開発研究と今後の展開」

開催趣旨

わが国の体系的な畜産技術開発研究が畜産試験場において大正5年に開始されてから100年が経過した。この間、幾度かの国立研究機関体制の変革を受け、昭和25年に農業技術研究所に統合、昭和36年に畜産試験場として独立、平成13年の独立行政法人化に伴い草地試験場と統合した畜産草地研究所、本年4月より農研機構畜産研究部門として改組された。その間、畜産業の展開を支えるべく種々の技術開発が行われてきた。現在、世界経済のグローバル化の波の中でわが国の畜産業のあり方は大きなターニングポイントを迎えるに至っている。この状況の中で、畜産技術研究のより一層の重点化と効率化に資するべく、これまでの研究展開を総括し、今後の研究発展方向を議論する。

日時：平成28年12月8日（木）13:30～17:15

場所：農研機構畜産研究部門（つくば）大会議室（〒305-0901 茨城県つくば市池の台2）

開会

挨拶	農研機構畜産研究部門 部門長	島田和宏
式辞	農研機構 理事長	井邊時雄
来賓祝辞		
	農林水産省生産局畜産部 部長	大野高志
	農林水産省農林水産技術会議事務局	
	元農林水産省畜産試験場 場長	小宮山鐵朗

第1部（基調講演）

「畜産研究の現状と今後の課題」

（公社）日本畜産学会 理事長 小泉聖一

「畜産生産現場のニーズと解決に向けた研究と普及の連携」

神奈川県畜産技術センター 所長 竹本佳正

第2部 畜産研究の将来展開

パネルディスカッション 司会：柴田正貴（元農研機構畜産草地研究所 所長）

キーノートスピーチ

横内囿生（元農研機構畜産草地研究所 所長：歴史・育種）、佐藤英明（家畜改良センター 理事長：繁殖）、松本光人（元農研機構畜産草地研究所 所長：栄養）、清水矩宏（元農研機構畜産草地研究所 副所長：草地飼料作）、土肥宏志（元農研機構畜産草地研究所 所長：連携・畜産物）

パネルディスカッション

小泉聖一、竹本佳正、大野高志、横内囿生、佐藤英明、松本光人、清水矩宏、土肥宏志、島田和宏

閉会 挨拶 農研機構畜産研究部門 畜産飼料作研究監 大同 久明

交流会 ホテルグランド東雲 18:30～20:00

参集範囲：関係機関、農林水産省畜産試験場OB等

事務局 農研機構畜産研究部門 企画管理部 企画連携室 担当：渡辺

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2

TEL:029-838-8618 FAX:029-838-8606

電子メール：xx145547@affrc.go.jp